

兼テ以道大遠之漸二月分外流シテ中見
少引ケル在吾等ノ困却トヤ言シ迷惑ト申スベキ実
以途方ノ暮リハ就多クハ断信者来リ一封印差出
ル等ト何ヤラ恐怖をシラス前ルと海種ト心配テ
寢食ノ安否トテ過キあもトハし存存者信
改竄重シク免日新大のみ可ハトナリト是勝
程難斗ハ在等案打檢吾等トテ改ノ覚察
可ム勿論前ハ在過トクマニ思ハ在宿未近ト云
勤弁日新叔ト自ハ其自ハ致トテ冬去春来ト困
却如何斗ト自察在申ク飲食不甘快シタル月
日を送リト是ト山川為信ト日振ト多ク己ト先ト兼
ト入勢ト高ト切在掃損トト討中ト唯是君心
配ト云ト亦他ト云ト云

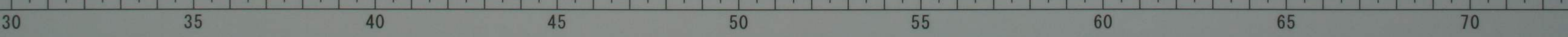
此日當柔ト云金金ト感ト他大悦事何卒速ニ成
功あり根柢不名ト云ハ村家ト事故不日好模樣不
可疑尚モ情急故ト希ト○砂糖ト一件ト何ト
御分金ト掛ト為トクハ在活ト隊方トクハ在便云
作ト云

一此此地當柔ト云形勢如何江津ト云ト田舎古坂新少
甚難以ト少及ト云ト云ト云ト云ト以酒可ト云ハ初駭地ト
兎角不公平ト云ト日弊成ト行ト奸吏權ト志ト有志ト士
追ト退散斯ト云ト所家ト安危如何歎息ト云ト云ト云ト
一身ト不平ト忍ト云ト倍觀坐視難致事ト山故云
議論及ト云夫ト云ト新程ト不才ト云ト何分沈黙致至
先ト云ハ大議論奸吏等大関口一時ト戦争大勝利ト
得ト云ト云ト云ト一身ト安危難斗心配ト云ト云ト是キリ
ト云ト云ト云ト云ト先夜覆面ト人兩人拙宅ヲ窺ト由ト云ト同
志ト人ト報告終歎ト餘ト云ト夜安眠不仕朋友ト人毎夜
警衛致事ト云ト実ト云ト云ト云ト云ト心配ト云ト云ト云ト勿偏
此方ト剛神ト云ト暗殺杯ト受ト云ト云ト奸賊ト同ト云ト
受ト云ト以犬糞復仇ト論ト可恐倍以駭地久留ト云ト
是ト先夜江津城外ト一駭動ト云ト云ト由及ト云ト
其ト情ト探ト云ト不平ト云ト云ト集好吏ト切ラントト云ト
一可ト云ト云ト云ト云ト云ト近ト云ト駭動ト云ト云トト心
配ト云ト邪ト正ト窺ト正ト邪ト現ト駭地ト形勢忠義
試ト思ト駿州政公平上下ト和逐日開化ト趣カバ前日
ノ恥辱聊雪ト云ト敵國可恐然ルニ当今ノ風説若
敵國ト達セバト云ト見ト後指サス必然ト云ト實以死
念ト云ト云ト云ト何卒好吏一鋤ト云ト日勢ト復ト云トタキモト云ト
乍去孰惟ト云ト漢ト末董卓逆意ト恐ト云ト云ト忠臣力

警衛致事... 此方より剛神を台暗殺杯を受... 奸賊一同の憎... 受ふより以犬糞復仇論も可恐傍以駭地久留... 其多情の探り... 近口又駭動... 配... 試... 敵国ニ達セバアノザラ見ロト後指サハ必然タリ... 念... 旨去熟惟... 漢ノ末董卓逆意ヲ恣ニセカ忠臣力ヲ盡シテ之ヲ誅セシ... 漢ヲ滅セントセリ前門虎ヲ防ケハ後門狼ヲ進メ漢末ノ形勢歎スベシ我カ駭ノ如キモ之ニ似タリヨシヤ今好賊ヲ攘フモ後好又出ツベシ傾ク運ハ是非モナシ盡力ニ益ニ属スベシ去ルベキカ死スベキカウ高説伊... 今朝宇秋水ヨリ一封ヲ投ジテ曰此カ湯治ノ為メ他州へ行ク云々愚案云ニ秋水ノ病性ハ元未傷冷毒梅毒合併故遠ク他州へ行カストモ熱海カ嶺根近傍ノ温泉ヲ事足ルベシ秋水豈之ヲ知ラザランヤ然ルニ他州へ行クハ湯治ノ為メニアラスレテ此国へ帰セシオラン私共決家ニ為メニ秋水ヲ奉ゲントセシカドモ駭地ノ不公平ヲ嫌テ未此カ湯治ト唱ルハサカ私共ハ氣ノ毒半分ノ偽リナルベシトモ察ム衆人秋水ノ湯治ト聞ケルコトニ氣ノツキタルモノナシ是レ又ホレニテ秋水ハイマダニ致思ヒカト存居ル私別チ前論ヲ吐テ衆比駭服ス愚ト謂フベシ夫レ共私ノ推量遠ハテ是レ君家ニ奉ナレ先口中曰人ヨリ段々申シ越ハ言葉ノ端々ヲ熟惟スルニモハヤ致ラセテ来ルヤリスモナク愛慕セシキタルケシキナリ可嘆

前文ト通リ形勢ハ以難ハ此命水... 沼津に降り當帝ハ拙宅ノ近所潜リ居夜分ハ時々尋尋日人脱走中ノ艱難戦争ノ勝敗今見ル如リ詔シハ古諺ニ面白クも一夜真他ニテ藝藩ヲ夜討シ翌日薩長ト戦ヒ終日ノ戦争大勝利ヲ得又去根藩ノ重臣ヲ捕ヘテナブリゴリニセシトテ高説ノ聞セキ致ラセテ未タ洋書出来ズル旨帝使ニハ是レ可嘆ナリ

何れも年... 此カ一種ノ... 衆人再婚ヲ... 賢婦人... 何れも年... 窮血布更不任心



べし秋水豈之ヲ知ラザランヤ然ルニ化州（行クハ湯治ノ為メニ）
アラシテ此国へ歸セシランの共侯家ニ為メニ秋水ヲ奉ゲテ
セシカドモ賤地ノ不公平ヲ嫌テ不來此ハ湯治ト唱ルハサスガ
此共ニ氣ノ毒半分ノ偽リナルベシトモ察シ衆人秋水ノ湯治ト
聞ケルニコニ氣ノツキタルモノナシ是レ又ホレニテ秋水ハイマダニ
致思ヒカト存居あり私別チ前論ヲ吐テ衆比初服ス愚ト謂フ
ベシ夫レ共氣ノ推量遠い是レ君宗ニ幸ナシ先口中曰人
ヨリ段々申シ越い言葉ノ端々ヲ熟惟スルニモハヤ致らテ
来ルヤースモナク愛志いキタルケレキナリ可嘆

前文ト上通り形勢ハ以難い此節ハ亦以良奥あり
沼津に歸リ當帝ハ世定ノ近所潜リ夜分ハ時尋常
日人脱走中ノ艱難戦争ノ勝敗今見ル如リ詭い
古誠ニ面白い一夜奥地ニ藝藩ヲ夜討シ翌日薩
長ト戦ヒ終日ノ戦争大勝利ヲ得又彦根藩ノ重臣ヲ
捕ヘテナグリゴリニセシナド彦治ト山間ニ移ルハ未タ
洋ヲ出来ず古帝使いハ是を嘆り

乍序白き此ハ一種の詭計トシテ抑も不離縁は獨身の女氣
血ナレバ又不自由なりあり衆人再婚ヲ勸め共にカモヤ
ありい台ウカトハ世世のヤリ若く又も一人以て婦人の重んんん
詭計ハ此の如き事常念僅共に是を以て人ナリいり事あり
いき方方秋水ハいりてハ是を為す

何ぞ以て年を以て名を以て善しからん事窮血中更不任心
いきこも一瓶輕微之心汗顔之極之公并
此一酌以一笑を下す本懐之意也

右件ハ以て交と外後湯ノ節トハ強い尚時下
折角ノ厭之遊ハ極なり、世を何も取りありり
以て序ノ事トいふハ何れ也ハ以て序ノ事トいふハ

正月廿四日

南策
加采

清兄様

常此一事は他人の事自前但し水も其の
分後りんを以て序ト云くハ此見後ハ中